

2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月12日

上場会社名 株式会社エストアー 上場取引所 東
 コード番号 4304 URL <https://Estore.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 石村 賢一
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 森 淳 TEL 03-3595-1106
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	2,443	109.3	197	73.4	242	79.2	91	△2.9
2020年3月期第1四半期	1,167	—	113	—	135	—	94	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 96百万円 (1.1%) 2020年3月期第1四半期 95百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	19.23	15.98
2020年3月期第1四半期	19.81	16.46

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	7,674	1,702	22.2
2020年3月期	7,375	1,746	23.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 1,702百万円 2020年3月期 1,746百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	29.00	29.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	29.00	29.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	9,645	98.7	398	△16.6	459	△12.7	230	△37.4

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2020年8月12日)公表いたしました「会計処理の変更等に伴う連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	5,161,298株	2020年3月期	5,161,298株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	387,608株	2020年3月期	387,579株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	4,773,697株	2020年3月期1Q	4,774,017株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間は、リモートワーク在宅勤務の社会的促進により、ネットによる消費の高まりが顕著に表れました。当社事業における販売システム（ショップサーブ）の利用店舗においては追い風となり、各店舗の売上高が大きく上昇しました。一方で、企業経営全般的には困窮に加え資金課題にも直面しているため、非ネットの街頭サービス業などのネット集客、広告は停止あるいは見直す顧客が増加し、厳しい状況となりました。

以上より、当社グループにおいての売上面では、店舗業績に連動するクラウド型販売システム事業は上昇しましたが、大型インテグレーションシステム事業と販促事業は、期初計画以下で推移しました。費用面では、この期間、営業獲得のための広告費用を抑えるなど、コスト削減に努めてきました。なお、今期予定していますオフィスの統合、本社移転に関する費用のうち、一部（130,622千円）を減損損失で処理をし、特別損失に計上しています。

その結果、売上高は 2,443,633千円（前年同期比 109.3%増）、営業利益は 197,330千円（同 73.4%増）、経常利益は 242,423千円（同 79.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は 91,789千円（同 2.9%減）となりました。なお、今期より、前年度にM&Aにて連結子会社化した株式会社コマースニジュウイチ（以下、C21）のすべてをシステム事業に含め、株式会社ウェブクルーエージェンシー（以下、WCA）のすべてを販促事業に含めて計上しています。

以下、主要な2つのセクター（システム事業・販促事業）の詳細を説明いたします。

<システム事業セクター>

システム事業はEストアーのクラウド型販売システム（ショップサーブ）とC21のインテグレーション型専用構築の販売システム（セルサイドソリューションなど）が対象になります。

ショップサーブは、既報これまでの戦略どおり、店舗数は減少していますが、1店舗当たり売上高の高い顧客の獲得推進の効果と、昨今の消費行動の急激な上昇でEC需要が高まりを見せたことにより、1店舗当たり売上高は前年度比 54.6%増と大幅に上昇しました。また、昨年10月より実施されている「キャッシュレス・消費者還元事業」終了の駆け込み需要とも重なり、販売システムの決済オプション利用や当社決済代行サービス利用も大幅に上昇したことで、ストック収益およびフロー収益が大きく伸長しました。

大企業向けECシステムのセルサイドソリューションにおいては、既存顧客からの受注は、継続保守ならびに追加発注などで安定的に見込めていて、機能追加の受注など運営保守は順調に推移しています。一方で、新規の案件開発については、コロナ禍社会に起因して、開発開始時期の延期や要望納期の遅れが発生するなど、期初計画に対して未達の状況となっています。

以上の結果、中小型企業向けのストック売上高（月間固定料金売上）は、442,093千円（同 7.5%増）、フロー売上高（GMV（流通額）連動売上）は、689,777千円（同 46.9%増）となりました。大企業向け売上高（開発・保守料金）は、357,706千円となり、システム事業全体の売上高は、1,489,577千円（同 69.1%増）となりました。

<販促事業セクター>

販促事業は、Eストアーのショップサーブ顧客を主とした販促サービスと、WCAの全事業が対象になります。

Eストアーの販促サービスは、既存顧客へのアップセルが順調に推移し、受注単価が上昇するなど一定の成果が見込めました。また、ここ数年注力している新規の大型案件営業については、需要が認められながらも、計画どおりの受注獲得には至らず半分程度の進捗状況です。

WCAは、非ネットの街頭事業顧客が多い事からも、コロナ影響などによる顧客企業の業績に起因して、クライアントの大型プロモーションが一時的にストップするなど、広告需要が振るわず厳しい結果となりました。なお、期間中に徐々に活動の兆しが見え、回復基調へと推移しています。そのため、足元では、キャンペーンによる営業強化や地方エリアのクライアント獲得に向けての活動を強化しています。

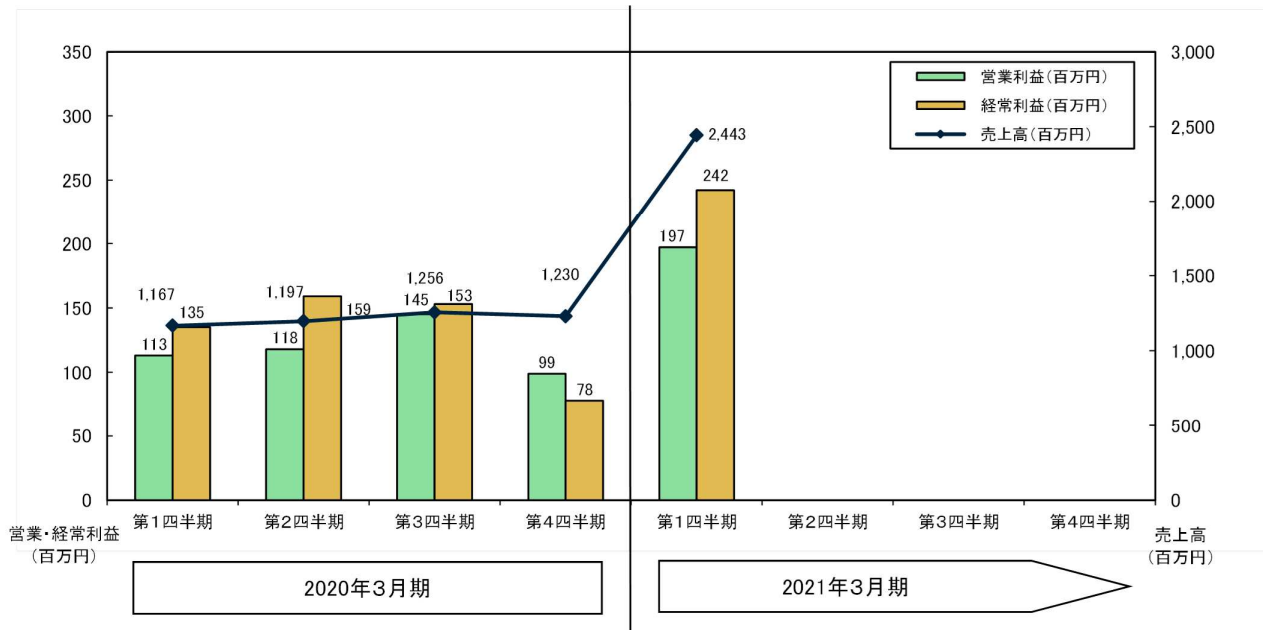
以上の結果、Eストアー販促サービス売上高 287,206千円（同 3.1%増）、WCA売上高 658,282千円となり、販促事業全体の売上高は、945,488千円（同239.4%増）となりました。

<その他>

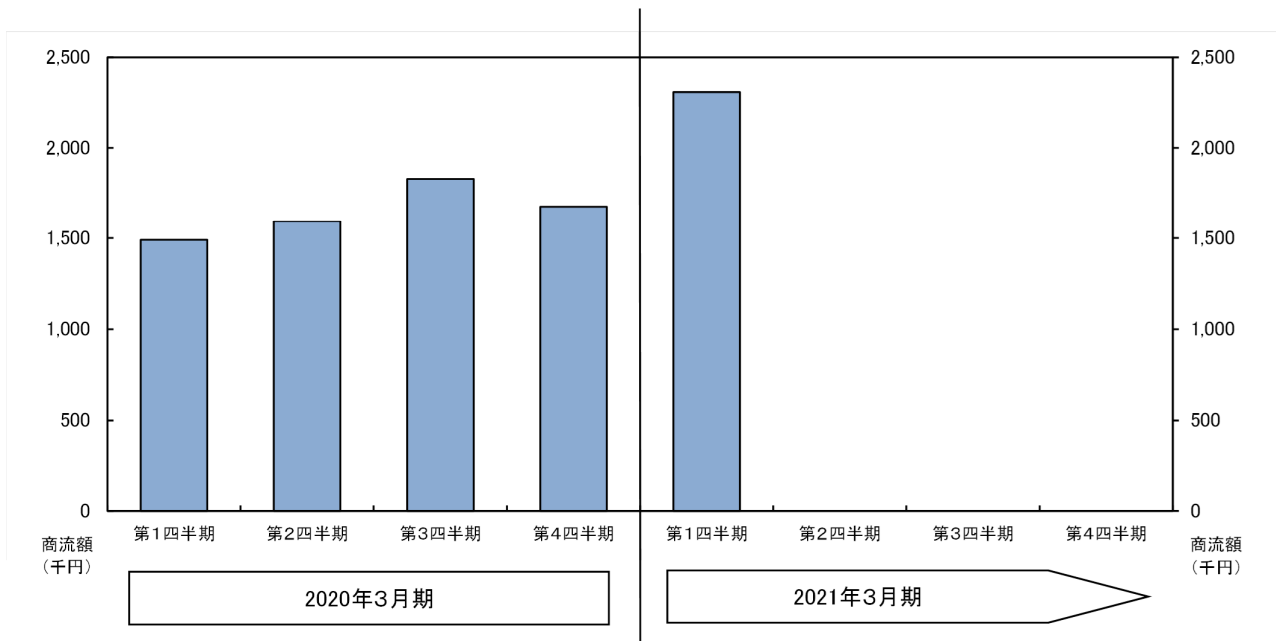
その他の今期非注力事業に定めている「販促システム」などの売上高は、8,567千円（同 6.2%増）となりました。

以上、今期より、昨年度のM&Aに基づき、かつての中期計画の目的のひとつであった「販促事業を伸長させ、競争激化を避けて意図して減衰させるシステム事業をカバーし、これを超えていく」事が今期より叶ったとともに、システム事業そのものも伸長している状態で、当該の第1四半期が締められました。上述のとおりコロナ禍社会の動向に注視し、早い挙動により、引き続きこのM&A効果の傾向を強めていくべく、次の四半期に向かって参ります。

(売上・利益の四半期推移)



(Eストアークラウド型販売システム(ショップサーブ) : 1店舗あたりの商流額)



(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、7,674,538千円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は次のとおりです。

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末比で298,709千円増加し、7,674,538千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加216,851千円、仕掛品の増加70,365千円、敷金保証金の増加91,165千円によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末比で342,475千円増加し、5,971,694千円となりました。これは主に、買掛金の減少215,898千円、預り金の増加692,316千円によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末比で43,766千円減少し、1,702,844千円となりました。これは、2020年3月期の配当金支払138,437千円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益として、91,789千円を計上したことによります。これにより自己資本比率は22.2%(前連結会計年度末比1.5ポイント減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想については、本日公表いたしました「会計処理の変更等に伴う連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,288,953	3,505,804
売掛金	1,287,962	1,224,776
仕掛品	110,256	180,621
貯蔵品	15,706	16,708
暗号資産	11,015	16,241
その他	257,506	335,695
貸倒引当金	△1,175	△1,228
流動資産合計	4,970,225	5,278,619
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品(純額)	106,552	92,317
その他(純額)	156,123	59,187
有形固定資産合計	262,675	151,504
無形固定資産		
のれん	609,793	603,104
顧客関連資産	557,000	543,075
その他	130,903	127,985
無形固定資産合計	1,297,697	1,274,165
投資その他の資産		
投資有価証券	198,690	204,893
関係会社株式	202,363	237,201
敷金保証金	374,615	465,780
その他	85,079	77,891
貸倒引当金	△15,518	△15,518
投資その他の資産合計	845,230	970,250
固定資産合計	2,405,603	2,395,919
資産合計	7,375,828	7,674,538

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,016,490	800,592
1年内返済予定の長期借入金	130,008	130,008
未払金	110,775	107,371
未払法人税等	148,013	80,511
預り金	1,855,400	2,547,716
資産除去債務	—	70,066
その他	277,641	254,643
流動負債合計	3,538,329	3,990,910
固定負債		
新株予約権付社債	999,600	999,600
資産除去債務	57,284	24,552
長期借入金	862,848	841,218
その他	171,156	115,413
固定負債合計	2,090,888	1,980,784
負債合計	5,629,218	5,971,694
純資産の部		
株主資本		
資本金	523,328	523,328
利益剰余金	1,548,009	1,499,973
自己株式	△324,444	△324,478
株主資本合計	1,746,893	1,698,823
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△283	4,020
その他の包括利益累計額合計	△283	4,020
純資産合計	1,746,610	1,702,844
負債純資産合計	7,375,828	7,674,538

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	1,167,575	2,443,633
売上原価	795,320	1,878,119
売上総利益	372,255	565,514
販売費及び一般管理費	258,465	368,183
営業利益	113,789	197,330
営業外収益		
受取利息	0	0
持分法による投資利益	9,255	41,430
暗号資産評価益	12,257	5,246
雑収入	121	472
営業外収益合計	21,633	47,149
営業外費用		
支払利息	—	1,881
為替差損	14	96
雑損失	109	77
営業外費用合計	124	2,055
経常利益	135,299	242,423
特別損失		
減損損失	—	130,622
特別損失合計	—	130,622
税金等調整前四半期純利益	135,299	111,800
法人税、住民税及び事業税	33,845	73,583
法人税等調整額	6,888	△53,572
法人税等合計	40,734	20,011
四半期純利益	94,564	91,789
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	94,564	91,789

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	94,564	91,789
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	438	4,303
その他の包括利益合計	438	4,303
四半期包括利益	95,003	96,093
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	95,003	96,093
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、単一セグメントであるため、記載を省略しています。